



# 平成 17 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 16 年 12 月 24 日

上場会社名 株式会社 ダン (コード番号：2668 大証第 2 部)

(URL <http://www.dansox.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 越智 直正 TEL：(06) 6708—2456

責任者役職・氏名 取締役財務部長 谷川 繁

## 1 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2 平成 17 年 2 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 3 月 1 日 ～ 平成 16 年 11 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 2 月期第 3 四半期	5,967	—	159	—	287	—	108	—
16 年 2 月期第 3 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考)16 年 2 月期	8,555		490		541		270	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 2 月期第 3 四半期	16	23	—	—
16 年 2 月期第 3 四半期	—	—	—	—
(参考)16 年 2 月期	39	00	—	—

(注)当第 1 四半期より「四半期財務・業績の概況」の開示を行っているため、前年同期の実績及び増減率については記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

### ① 当第 3 四半期における業績

当第 3 四半期の靴下業界におきましては、昨年終盤から今年度初頭にかけて、長期にわたって続いてきた輸入増勢基調が沈静化の傾向を示しておりましたが、当年 6 月から再び、前年同月比 2 ケタ増を記録するなど、輸入品比率が高くなっております。

この様な状況の中で当グループは、国内生産にこだわった商品の企画力、品質の強化に重点を置くと共に、各種フェアやキャンペーンを絡めた営業活動を行うことにより、他社との差別化を図った店頭作りを目指して参りました。また、積極的な新規出店やメンズ専門店の展開、海外出店及び靴下製造関連機械開発に取り組んで参りました。

しかしながら、業績の柱となるリーディングアイテムが不足していたこと、猛暑や台風、さらには暖冬の影響を受け、消費マインドが落ち込んだことにより、当第 3 四半期の売上高は 5,967 百万円、営業利益は 159 百万円、経常利益は 287 百万円、四半期純利益は 108 百万円となりました。なお、当第 3 四半期は開示初年度であるため、前年同期比較は行っておりません。

### ② 当グループの業績における季節的変動

当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期(3月～8月)に比べ下半期(9月～2月)に販売される割合が大きくなっております。従いまして上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

## (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年2月期第3四半期	5,637	2,185	38.8	327 84
16年2月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)16年2月期	5,633	2,149	38.2	320 90

(注)当第1四半期より「四半期財務・業績の概況」の開示を行っているため、前年同期の実績については記載しておりません。

## ○ 添付資料

- ・ 第3四半期連結貸借対照表
- ・ 第3四半期連結損益計算書
- ・ セグメント情報
- ・ 仕入及び販売の状況

## [参考]

平成17年2月期の連結業績予想（平成16年3月1日～平成17年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	8,379	411	192

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 28円60銭

## [業績予想に関する定性的情報等]

今後の見通しにつきましては、当第3四半期業績の結果を踏まえ、平成16年10月14日の中間決算発表時に公表した平成17年2月期の通期業績予想を修正致します。

なお、修正理由と致しましては、[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]において記載の政策を積極的に推し進めて参りましたが、猛暑及び台風の影響、さらには暖冬の影響で、これら政策の成果を十分に吸収できず、業績の回復にはまだ暫くの時間を要するものと判断したためであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上